

働き方改革推進事業【岡崎市】

個別事業費	483 千円
交付金額	242 千円

地域の実情と課題

岡崎市は製造業従事者が多く、中小企業も多いことから、女性の就業率が全国平均と比べて低く、女性の年齢階級別労働力率は全国平均よりも深いM字カーブを描いている。これらを解消するためには女性への柔軟な就労支援と事業所への女性活躍推進、働き方改革推進の啓発・支援が必須である。令和元年に行った市民意識調査では、「女性が就労を継続するために必要なことは」という設問に対し、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が36.5%と多くの割合を占めている。

また、新型コロナウイルスの影響によりテレワークを導入した事業所もあり、デジタル人材の育成や就業環境の整備の必要性が高まっている。女性が就労を継続するためには、女性と事業所の双方に柔軟な働き方を推進し多様な労働モデルを提示する必要がある。

事業の特徴

市内事業者を対象に、アドバイザー派遣を行い、女性の活躍支援及びワーク・ライフ・バランスの推進を行った。

事業の効果

アドバイザー派遣回数は16回と目標を上回り、女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスへの取組に加え、女性活躍推進法や次世代育成法改正に基づく情報提供を行うことができた。今後も女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスを多くの事業者が取り組んでいけるよう引き続き支援を行う。

目的・目標

【目的】

市内事業者を対象にアドバイザー派遣を行い、女性の活躍支援及びワーク・ライフ・バランスの推進を行うとともに、新たな働き方であるテレワークについて事業所への導入と定着を支援する。

【目標】

- ・アドバイザー派遣回数:10回
- ・事業所調査においてテレワークを「導入している」と回答した事業所の割合:15%

連携団体

- ①岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会
岡崎商工会議所、連合愛知三河中地域協議会
岡崎信用金庫
- ②愛知県

今後の課題

テレワークの導入や就業環境の整備が未実施な事業者に対し、今後もアドバイザー派遣を実施し、職場環境の整備を支援していく必要がある。

働き方改革推進事業

市内事業者を対象に、アドバイザー派遣を行い、女性の活躍支援及びワーク・ライフ・バランスの推進を行った。

岡崎市アドバイザー派遣事業

中小企業では、人手不足や業務多忙等の理由から働き方改革が困難な事業所が多い。市から専門のアドバイザーを派遣することで、事業所の働き方改革の推進を図った。

【派遣回数】

6団体 16回

